

## 事業概要書

事業名	気仙沼マルシェ開催による地域活性化事業				
開始日	2011年10月1日	終了日	2011年12月31日	日数	92日間
団体名	特定非営利活動法人ネットワークオレンジ				

総額（税込）	3,245,000円	スタッフ人数	13人
--------	------------	--------	-----

事業目的	被災した商店に対して「気仙沼マルシェ」において店舗を営業するための学びと実践の場所を提供し、地域の復興・活性化に向けて第一歩を踏み出すための支援をすることによって、特に大きな被害を受けた気仙沼の中心市街地を活性化させ、魅力あるまちづくりを行う。
事業全体の概要	<p><b>【背景】</b> 東日本大震災により気仙沼市は広範囲に渡って甚大な被害を受け、震災後約半年が経った現在でも大量の瓦礫が散乱している状態で、街の機能は大部分が失われたままの状況である。また、震災による被害の規模があまりにも広範囲なため、行政機関が中心となって取り組む復旧・復興はすでに限界がきている状況である。そして職場や家族、家までも被災して失った人達が大勢いる中、職場や家、家族を失った人たちに寄り添い、声をかけ、日常の落ち着きを取り戻せる環境を取り戻し、活気を提供していくことが必要であると感じている。その活気を提供するため、ネットワークオレンジではコミュニティカフェ「チャの木」をオープンし、地域の方々が集まる憩いの場所を提供する取り組みを6月から開始した。今後も行政や企業目線だけではなく、市民の目線から学び合い、行動し、情報発信を行いながら、街全体で取り組む新しいまちづくりを継続的に行っていくことが必要となると考えている。</p> <p><b>【事業内容】</b> 上記のような街全体で取り組む新しいまちづくりのため、気仙沼市魚町・南町・八日町を始めとする震災で被災した商店に呼び掛け、「気仙沼マルシェ」を継続的に開催する。この地域にはもともと約200店舗が存在していたが、約9割の商店が被災し店舗の運営が不可能になった。そこで、復興のためのまず第一歩として、8月11-13日に南町青年部青空市と協力し、第一弾の「気仙沼マルシェ」を開催し、計918名の来場者を集めた。今後は以前からあった気仙沼の街並みを元通りに復旧するのではなく、地域の内外から人が集まり活気が出る仕組みを作り、全国に発信できるような新しいまちづくりをしていきたいと考えている。</p> <p>震災前の気仙沼の商店街には基本的に地元住民しか訪れず、ほとんどが固定客であるため商店側も売り方を工夫する必要性に乏しかった。しかし、今後活気のある新しい気仙沼のまちづくりをしていくには商店主の意識改革が求められており、顧客とのコミュニケーション方法やマーケティング・PR方法、店舗デザインなど売れるための仕組みづくりを継続的に学び、実践していくことが必要である。そのため、気仙沼市青年会議所や</p>

気仙沼南町商店街の青年会の協力を得ながら商店主向けの勉強会を実施する。また、外部講師として東急電鉄でリゾート開発に当たっている金山氏、アフラック最高顧問の大竹氏、一橋大学イノベーション研究センター長の米倉教授など、これまでネットワークオレンジの活動に協力いただいている外部の専門家を招聘する。加えて、気仙沼市長に対してもこの構想について説明を行い、必要に応じて随時気仙沼市企画部まちづくり推進課と相談できる体制を整えている。

その学びの実践の場として「気仙沼マルシェ」で実際に店舗を出店し、マルシェの開催後には勉強会を再度開催することで、学びと実践のサイクルを繰り返す。また、外部の専門家からのコンサルティングや他の店主との意見交換の場を設けることで、店主の疑問や不安を解消し、商店営業の質の向上を目指す。このような持続する仕組みを作ることによって、いきいきとした地元住民が集まるだけでなく、外部からも観光客が集まり、震災前より活性化したコミュニティを作っていくことができると考えている。今後1年間は事業のスタートアップ期間として、四半期に1度程度気仙沼マルシェを開催する。また、勉強会についてはマルシェの前後に1・2回程度実施する。現在、気仙沼市青年会議所を通じて店主への告知を行なっている他、直接店主へ参加の声掛けを行っており、約20店舗程度の出店を見込んでいる。出店する20店舗の選定は、原則被災した商店に限定し先着順で決定する。

事業内容(事業種別 (コンポーネント) ごと)	裨益者 (誰が、何人)
1. 被災した商店に対する場所の提供 <ul style="list-style-type: none"> <li>・気仙沼中心部におけるマルシェの定期的な開催</li> <li>・商店に対するテント、テーブルなどの必要機材の貸し出し</li> <li>・マルシェに関する地域住民や全国への広報</li> </ul>	気仙沼で被災した店主・スタッフ：約 100人、来場者：約 3,000人 気仙沼市民：約 7万人
2. 店主への教育活動・コンサルティング <ul style="list-style-type: none"> <li>・商店街や地域活性化に関連する外部講師の招聘</li> <li>・店主の疑問や不安に対応する外部専門家によるコンサルティング</li> <li>・店主向けのワークショップや講演会の開催</li> </ul>	気仙沼で被災した店主・スタッフ：約 100人、来場者：約 3,000人 気仙沼市民：約 7万人